

UBS ブラジル株式ファンド

追加型／海外／株式



ファンドの特色

- マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてブラジルの取引所に上場している企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）を中心に投資を行います。
- トップダウン・アプローチにより短期および長期のベース・シナリオを策定し、そのうえでボトムアップ・アプローチによる銘柄選択を行います。
- 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- マザーファンドの運用にあたっては、BTGパクチュアル・アセット・マネジメントに、運用の指図に関する権限を委託します。

資金動向、信託財産の規模、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

運用実績

※当レポートにおける分配金については全て課税前としております。また、基準価額の記載については全て信託報酬控除後としております。

ファンドデータ

基準価額	8,325円
純資産総額	219.8億円
設定日	2008年3月31日
信託期間	2008年3月31日から 2018年3月12日まで
決算日	原則として毎年3月10日 (休業日の場合は翌営業日)

分配金実績（1万口当たり、課税前）

決算日	分配金額
2009年3月10日	0円
2010年3月10日	0円
—	—
—	—
—	—
設定来累計	0円

基準価額（分配金再投資）の推移（設定～2011年2月28日）



基準価額（分配金再投資）の騰落率

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	0.36%	-1.86%	5.22%	-1.29%	—	-16.75%

※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。ただし、委託会社の判断で分配を行わないことがあります。

※基準価額（分配金再投資）は、ファンドの分配金（1万口当たり、課税前）でファンドを購入（再投資）したと仮定した場合の価額です。
 ※騰落率は各応答日で計算しています。
 ※応答日が休業日の場合は前営業日の数値で計算しています。
 ※基準価額の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

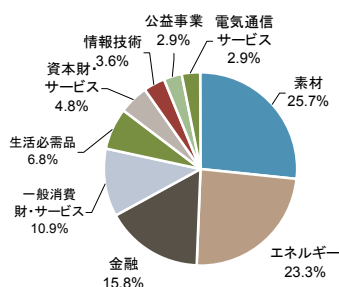
ポートフォリオの状況

資産構成比

株式	96.7%
コール・現金等	3.3%
	100.0%

※資産構成比は、マザーファンドの純資産総額に占める割合。

業種別構成比



※業種別構成比は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。
 ※表示桁数未満の端数は四捨五入で処理しています。
 ※構成比の合計は、株式の純資産総額に占める割合の96.7%になっています。

組入れ上位10銘柄(銘柄数合計: 74銘柄)

銘柄名	国	業種	銘柄概要	構成比
1 ヴァーレ(優先株)	ブラジル	素材	鉱山会社。鉄鉱石、ペレット、マンガン、金、合金、ニッケル、銅、カオリン、ボーキサイト、アルミナ、アルミニウム、炭酸カリウムの生産、販売を手掛ける。ブラジルに本社を置き、国内で鉄道、港湾施設なども運営。	13.2%
2 ブラジル石油公社(優先株)	ブラジル	エネルギー	石油・ガス生産会社。関連事業として、石油製品の精製、販売、供給も手掛ける。石油タンカー、パイプライン網、海洋・河川・湖沼のターミナル、火力発電所、肥料工場、石油化学ユニットなどを経営する。南米をはじめ世界で事業を展開する。	12.1%
3 イタウ・ユニバンコ・ホールディング(優先株)	ブラジル	金融	商業銀行。預金業務をはじめ個人、商業、法人向け銀行サービス、およびプライベート・バンキングを手掛ける。主要サービスは、消費者ローン、資産管理、保険、年金、財務、モーゲージ、リースファイナンス、証券代理業、外為業務など。	8.1%
4 OGX ベトロリオ・ガス・パルチンパソイス	ブラジル	エネルギー	石油・ガス会社。石油と天然ガスの探査・採掘を手掛ける。	5.4%
5 ロジャス・アメリカナス(優先株)	ブラジル	一般消費	小売チェーン店。ブラジル全都市で事業を展開する。消費者製品および半耐久財をロジャス・アメリカナスの小売アウト財・サービスレットで販売する。食品・非食品の両方を販売。子会社 Facilita を通じて個人ローンも提供する。	3.8%
6 レデカード	ブラジル	情報技術	クレジットカード会社。クレジットとデビットカードの決済事務処理を手掛ける。ブラジル全土にある小売店のターミナルを通して取引データを受領する。	3.5%
7 ブラジル銀行	ブラジル	金融	商業銀行。預金業務のほか、商業および個人向け銀行サービスを提供する。手掛けるサービスには消費者・商業・農業関連向けローン、資産管理、外国為替、企業年金、保険、インターネットバンキングなどがある。	3.4%
8 ブラジル石油公社	ブラジル	エネルギー	石油・ガス生産会社。関連事業として、石油製品の精製、販売、供給も手掛ける。石油タンカー、パイプライン網、海洋・河川・湖沼のターミナル、火力発電所、肥料工場、石油化学ユニットなどを経営する。南米をはじめ世界で事業を展開する。	3.3%
9 ブラジル・フーズ(BRF)	ブラジル	生活必需品	食品輸出会社。養鶏および鶏肉の生産に従事する。冷凍パスタ、大豆およびその派生品の加工や、冷凍野菜の分配も手掛ける。主要ビジネスは冷凍食品。中東、英国、日本、ロシア、オランダ、フランスに拠点を持つ。	2.7%
10 ヴァーレ	ブラジル	素材	鉱山会社。鉄鉱石、ペレット、マンガン、金、合金、ニッケル、銅、カオリン、ボーキサイト、アルミナ、アルミニウム、炭酸カリウムの生産、販売を手掛ける。ブラジルに本社を置き、国内で鉄道、港湾施設なども運営。	2.5%

※構成比は、マザーファンドの純資産総額に占める割合です。

市場概況と今後の見通し

市場概況:

2月のブラジル株式市場は、ボブスパ指数が対前月比で上昇したことからプラスとなりました。月の中旬には、中国の利上げに伴い中国の景気加速に歯止めがかかることが懸念されたこと、ブラジルでの物価上昇と金融引き締めが国内の企業業績に与える影響が懸念されたことなどから、ブラジル株式市場は下落しました。月の中旬には、エジプトのムバラク大統領の辞任や、中国の1月の貿易統計の良好な内容を受け、ブラジル株式市場は上昇に転じました。月の下旬には、リビアの情勢緊迫化を受けて原油価格が高騰し、世界景気への悪影響が懸念されたこと、ブラジルでの金融引き締めへの懸念が市場で広まったことなどから、ブラジル株式市場は下落しましたが、月の終盤には原油供給懸念の後退やブラジルの好調な企業業績を受けてブラジル株式市場は緩やかな上昇基調に転じ、月全体としては前月比で上昇して月を終える展開となりました。セクター別では、金融・石油セクターが堅調に推移した一方で、小売・不動産・運輸・鉱業などのセクターが軟調に推移しました。

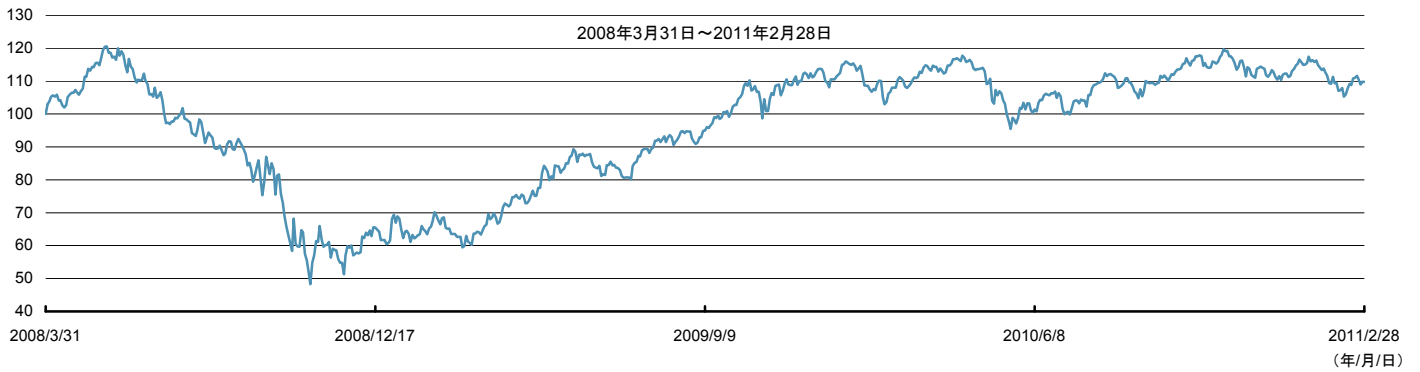
為替市場では、前月末の48円台の水準から、月初49円台まで上昇し、その後も一時50円台での推移が続きましたが、月末に再び49円台まで低下して月を終える展開となりました。※文中の為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を参照しています。

運用状況及び今後の見通し:

2月の当ファンドの騰落率は0.36%(円ベース)でした。その期間に該当するボブスパ指数の騰落率は0.74%(円ベース)でした。ブラジルの2010年の実質GDP成長率は7.5%となりました。ブラジルでは、インフレ抑制策の手段として、2011年を通じて政策金利が段階的に引き上げられ、また、金融機関への規制強化などを通じた金融引き締め(マクロ・プルデンシャル措置)もあわせて行われると見られています。引き締めに伴い経済成長のペースがやや鈍化していくとの見方は株式市場では既に織り込まれていますが、物価上昇の見通しが安定するまでの間はボラティリティの大きな動きが続くことも予想されます。また、短期的には米国での景気回復や欧州での信用不安問題の動向、中東情勢など外部環境の動きがブラジル株式市場に与える影響にも注視が必要です。中長期的には、ブラジル国内の堅調な内需成長や中国など主要貿易相手国の経済成長が今後もブラジル株式市場の支援材料となると考えられます。

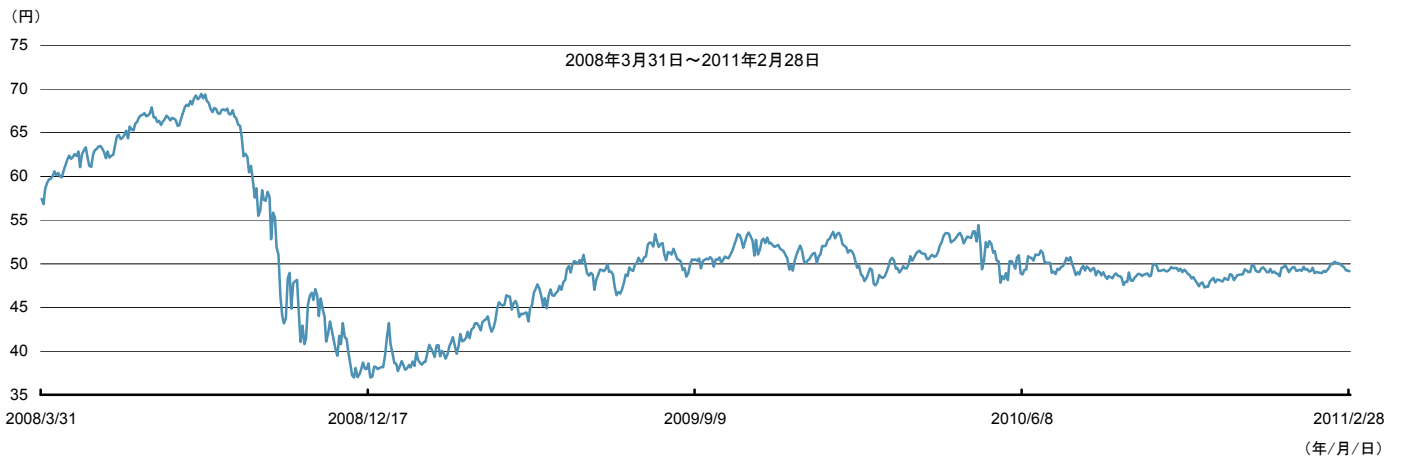
ご参考情報

ボヘスバ指数の推移



※2008年3月31日を100として指数化。上記指数は、市場の動きを示すために参考までに表示したものであり、当ファンドのベンチマークではありません。

為替の推移(円/リアル)



出所:ブルームバーグ、シティバンク公表レートをもとにUBSグローバル・アセット・マネジメント(株)作成

ファンドの主なリスク

当ファンドの基準価額は、組入れられる有価証券等の値動きによる影響（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を受けますが、これら運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

当ファンドにかかる主なリスクは次の通りです。ただし、すべてのリスクについて記載されているわけではありません。

1. 株式の価格変動リスク

・株価変動リスク

株価は、政治・経済情勢、株式の需給関係、発行企業の業績等を反映して変動します。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。

・信用リスク

株式の発行企業の業績悪化や経営不安、倒産等に陥った場合には投資資金の回収が出来なくなる場合があります。基準価額に影響を与える要因となります。

2. カントリー・リスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、運用方針に沿った運用が困難となったりする場合があります。なお、当ファンドが実質的に投資を行う新興諸国・地域には、一般的に先進国と比較して、「政治・経済および社会情勢等の変化の度合いおよび速度が大きい傾向にあること」、「資産の移転に関する規制等が導入される可能性が高いこと」、「企業等の開示に関する正確な情報確保が難しいこと」等のリスクおよび留意点があります。

3. 為替変動リスク

外貨建資産を円貨ベースにした場合、その資産価値は、為替レートの変動により影響を受けることとなります。したがって、為替の変動に伴い、当ファンドの基準価額が変動する可能性があります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込メモ

購入単位	1万円以上1円単位または1万口以上1口単位を最低単位として、販売会社が独自に定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	1口以上1口単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額とします。
換金代金	換金申込受付日から起算して原則として6営業日目から販売会社でお支払します。
申込締切時間	販売会社の営業日の午後3時までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口換金請求には制限を設ける場合があります。
購入・換金不可日	サンパウロ証券取引所またはニューヨークの銀行の休業日と同日の場合には購入・換金申込の受け付けは行いません。
購入・換金申込受付の中止及び取消	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは購入・換金申込の受け付けを中止すること、および既に受付けた購入・換金申込を取消することがあります。
信託期間	平成20年3月31日から平成30年3月12日まで
繰上償還	純資産総額が30億円を下回ることとなったとき、信託契約を解除することが受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときには、ファンドが繰上償還となる場合があります。
決算日	原則として毎年3月10日（休業日の場合は翌営業日）
収益分配	年1回の決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。 なお、自動けいぞく投資コースの分配金（税引後）は、無手数料で自動的に再投資されます。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。益金不算入制度および配当控除の適用はありません。

ファンドの費用

当ファンドのご購入時や保有期間中には以下の費用がかかります。

■ 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、3.15%（税抜3.00%）以内で販売会社が定める率を乗じて得た額を、販売会社が定める方法により支払うものとします。
信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に、0.3%の率を乗じて得た額をご負担いただきます。

■ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 （信託報酬）	日々の純資産総額に年1.8165%（税抜1.73%）の率を乗じて得た額とします。 ※運用管理費用は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日、計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 ※マザーファンドの投資顧問会社への報酬は、委託会社が受取る報酬から支払われます。
その他の費用・ 手数料	監査費用および法定手続き（書類の作成、印刷、交付等）に関する費用等（日々の純資産総額に対して上限年率0.05%）を間接的にご負担いただく場合があります。 ※原則として、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 信託財産に関する租税（ブラジル市場において株式投資を行う際の金融取引税（IOF）（2.0%、平成22年10月末現在）を含みます。なお、ブラジルにおける当該関係法令等が改正された場合等には、税率および取扱いが変更になることがあります。）、組入る有価証券の売買委託手数料および外国での資産の保管費用等が、原則として費用発生の際、ファンドから支払われます。 ※信託財産の規模、取引量等により変動しますので、事前に金額および計算方法を表示することができません。

投資者の皆様にご負担いただく手数料等の合計額については、保有期間や運用の状況等に応じて異なりますので、事前に表示することはできません。

ファンドの関係法人

委託会社	UBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第412号 加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会、日本証券業協会
受託会社	住友信託銀行株式会社 再信託受託会社:日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社
投資顧問会社	BTGパクチュアル・アセット・マネジメント
販売会社	みずほ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号 加入協会:日本証券業協会、(社)日本証券投資顧問業協会、(社)金融先物取引業協会 UBS証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第232号 加入協会:日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会

本資料はUBSグローバル・アセット・マネジメント株式会社(以下、「弊社」といいます。)が運用状況に関する情報提供を目的として作成した資料です。本資料に記載された運用実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は本資料の作成時点での弊社の見解であり、将来の市場の動向等を保証するものではありません。また、将来、予告なしに変更される場合もあります。投資信託は値動きのある有価証券(外貨建資産には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本は保証されているものではありません。投資信託は預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構または保険契約者保護基金の保護の対象ではありません。また証券会社以外でご購入頂いた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。本ファンドのご購入に際しては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、お客様ご自身でご判断下さい。

© UBS 2011. キーシンボル及びUBSの各標章は、UBSの登録又は未登録商標です。UBSは全ての権利を留保します。